

県内16会場（別表1）

② 県研究協議会

10月4日～5日

4 方部 12会場（別表2）

(4) 参加者 国・公・私立の小学校教員

(5) 指導助言者

指導主事、指導委員、校長、教頭、教諭等

(6) 研究主題

① 国語

文章を正しく、味わい深く読みとらせるために、書く活動をどう取り入れたらよいか。

② 社会

児童や地域の実態に即した学習指導を展開するために、教材の精選と指導の重点化をどうすればよいか。

③ 算数

日常の事象を数理的にとらえ、筋道をたてて考える能力や態度を育てる指導はどのようにすればよいか。  
—数理的な用語や記号の指導を中心にして—

④ 理科

児童がみずから問題を持ち、解決していく学習過程を、どのように計画し、指導すればよいか。  
—基礎的、基本的な内容を重視した発達段階に必ず効果的な問題解決のあり方—

⑤ 音楽

楽しさ、確かさの中に、美しさを求める音楽指導  
—基礎的諸能力を高めながら—

⑥ 図画工作

美的創造の芽を育てる図画工作の指導  
—授業過程を重視して—

⑦ 家庭

豊かな人間形成をめざす家庭科教育のあり方  
—すまいの領域における実践的態度を育てるための効果的な学習指導はどのようにすればよいか—

⑧ 体育

一人一人の体力を高めるため、運動の特性をとらえた学習指導はいかにあるべきか。

⑨ 道徳

ねらいにせまる指導過程の構成は、どのようにすればよいか。  
—指導の内面化をめざして—

⑩ 特別活動

学校行事における児童の自主的な参加意欲を高めるための指導はどうしたらよいか。  
—保健体育的行事、遠足的行事について—

⑪ 教育評価

学習過程における評価と児童の自己のたしかめをどう設定したらよいか。

⑫ 視聴覚教育

学習指導を改善するために、視聴覚教材、教育機器を授業にどう組織したらよいか。

(7) 参加者数

① 地区研究協議会 （別表1）

② 県研究協議会 （別表2）

## 4 中学校教育研究協議会

(1) 目的

中学校教育において、当面する教育課程の実施に伴う指導上の諸問題について組織的な研究を行い、その結果をもとに研究協議し、小学校教育の充実を図るとともに、教職員の指導力の向上に資する。

(2) 主催

福島県教育委員会、福島県中学校教育研究会

(3) 期日・会場

① 地区研究協議会 8月中旬 1日間

県内16会場（別表3）

② 県研究協議会 10月18日～19日 2日間

県北地区 11会場（別表4）

(4) 参加者 国・公・私立の中学校教員

(5) 指導助言者

指導主事、指導委員、校長、教頭、教諭等

(6) 研究主題

① 国語

国語科の本質に根ざした「読むこと」の指導をどのようにしたらよいか。  
—読書指導のあり方—

② 社会

社会科において資料活用能力を伸ばす指導はどうすればよいか。  
—資料活用能力を伸ばす指導のたしかめ—

③ 数学

事象を数理的にとらえる能力と態度を伸ばす指導はどのようにしたらよいか。  
—図形の領域で事象を数理的にとらえさせる指導のあり方—

④ 理科

科学的な自然観を育成するために、基本的な科学概念をどのように指導したらよいか。  
—基本的な科学概念の理解をはかる指導のあり方—

⑤ 音楽

音楽の基礎的諸能力を高め、楽しく意欲的に学習させるためには、どのように指導したらよいか。  
—豊かな音楽的表現の指導法—

⑥ 美術

表現活動をより豊かにするための造形上での主題性をどう高めたらよいか。  
—主題と生活感情との関係—

⑦ 保健体育

基本的技能を伸ばしながら、より進んだ技能へ発展させる指導はどのようにしたらよいか。  
—個人を生かした学習指導のたしかめと活用—

⑧ 技術・家庭（男子・女子向き）

教科の性格をふまえた教材構成による体系的な指導はどのようにしたらよいか。  
—評価による改善—

⑨ 外国語（英語）

個人差、能力差に応じた領域別における言語活動を効